

## 匝瑳地区タウンミーティング概要

- 1 日 時 平成22年6月23日（水）19時～20時30分
- 2 場 所 匝瑳小学校 多目的室
- 3 参加者 45人
- 4 市職員 太田市長、鈴木副市長、江波戸教育長、秘書課長、企画課長、総務課長、財政課長、税務課長
- 5 概 要
  - (1) 開会
  - (2) 区長会長あいさつ
  - (3) 市政報告（太田市長）
  - (4) 質問（要点のみ掲載）

### ① 総合窓口・民間委託関係

住民票の交付、介護保険の申請などいろいろな申請書があるわけだが、いろいろな部署にまたがっているの、これを一箇所の部署にまとめて対応いただけないかなと感じている。2、3日前にもテレビを見ていたら、そういう仕事については民間に委託している自治体もあるようだし、コンビニエンスの時代なので民間に委託することも含めて検討いただきたい。

#### （市長回答）

窓口については簡素化できるのが一番です。窓口の一本化については、各課と連携をとってなるべく簡素化を心掛けていきたいと考えていますので、内部で十分検討させます。

また、こういうご提案は大きく捉えると行政改革という枠に入ります。

市役所でも全員が行政改革大綱にならって頑張っているという状態であるので、こういうご意見をどんどん頂戴し、検討させていただき、よりスリムな行政体系にしていきたいと思えます。

#### （総務課長回答）

匝瑳市発足と同時に総合窓口方式をとっている状況です。皆さんが市役所においていただいた時、玄関にフロアマネージャーの職員が交代で立っていますが、このフロアマネージャーの導入も総合窓口方式の一環でやっています。

しかしながら、市民課の窓口で税金関係など一定の手続きはできるようになっていますが、市民の皆さんには、税の関係は税務課へ、高齢者の関係は高齢者支

援課、福祉の関係の相談窓口は福祉課へと行っていただいている実状ですので、総合窓口の内容の充実についてはさらに内部で検討したいと思います。

次に、民間委託については、公共サービス基本法で相当の事務項目が、民間の委託、または公務員でなくてもやれるという基本的な指針が出されています。

市では、嘱託職員を採用して公務員という立場ではないがそういう方々に手伝ってもらっている状況であり、一例をあげると窓口事務については、野栄総合支所に1名採用し、公務員の立場ではないが、諸証明の発行を行っています。

現状も、公務員でなくてもやれる業務については、民間の方々や嘱託職員に現在切り替えているという状況であります。

## ② 職員提案制度関係

事務の合理化、簡素化、改善に向けて、職員の提案制度を作って提案させたらどうか。企業ではとっくに始まっている。提案させて委員会の中で決定したものを実行に移すというもので、費用対効果の問題はあるが、採用されて成果をあげたものについてはそれなりの報酬を与える。企業であれば、品種改良、新商品の開発、そういうものに起用されたものについては褒賞している。行政でも提案制度を作って改善を図られたらいいか。

### (総務課長回答)

職員提案制度についてはすでに制度化されております。一例を挙げますと、今回の行政改革に伴い職員が減少し、事務を簡素化する必要がある中で、職員から242項目の提案がありました。現在70～80%を具現化して事務の簡素化に取り組んでいるところです。

また、今年度から豊栄保育所で土曜日の延長保育を導入しましたが、これは職員が勉強してきた中で提案があり、その提案を活用してこの4月からそういう取り組みをしています。まだまだ勉強が足りないというお叱りもあるかもしれませんが、そういう取り組みをしているのでご理解をたまわりたいと思います。

## ③ 匝瑳小学校統合関係(1)

先ほど市長から匝瑳小の統合廃合の問題が上がっているという話があったが、私たちも現実痛感している。

現状49名で、来年入学予定されているのが7名ほどいると聞いている。

今年11名入学したが、そのほかにも4名ほど入学する予定だったという話を聞いている。教育委員会の話では、匝瑳小は児童クラブが無いということで、他校に入学されたという話を聞いた。

今、吉田地区と豊和地区は児童クラブを市にお願いをしているかと思うが、このままいくと本当に人数が少なくなっていく中で、少しでも多く匝瑳小に来てもらうことを考えると、児童クラブをここに設置していただきたい。

ここに設置できない場合は、近くの児童クラブがある所までバスなりそういう交通手段を考えていただいて、少しでも匝瑳小の人数を増やせればと思っている。

#### (市長回答)

児童クラブは、吉田小、豊和小、匝瑳小には設置してありません。行政としては、各学校単位に児童クラブを設置してお子さんの教育、あるいは保護者のお手伝いをしていければ良いのですが、児童数が少ないということでなかなか難しい状況にあります。

匝瑳小の場合は、複式学級という大きな問題もあり、とにかく行政としては少子化の防止のため、人口増、子どもを多くしていこうと躍起になっていますが、こうしたらという解決策が見つからない状況です。保護者の子育て環境の改善も必要であろうし、働く場所も必要になってくると思います。お子さんが多くなるような政策を考えていきたいと思っています。

#### (教育長回答)

児童クラブを希望する子どもたちは増えていますが、一方で学校の児童数は減っています。だいたいどの学校も利用者は全児童数の約2割。少ない学校では1割ぐらい。アンケートを取ってみると、ぜひ児童クラブに入りたいから作っていただきたいという希望はたくさんあるが、いざ設置してみると希望のごくわずかしか入っていただけないという傾向があります。最初に設置したところでは、まだ当初予定した人数に到達しない現状です。

豊和小、吉田小、匝瑳小は極めて児童数が少ないので、希望者を1割とすると、ごく少数の人以外は利用がないことが予想されます。指導員を雇う関係で、20人以上いないと国の補助金がなく、市の負担が多くなるという問題があります。

何かあったときのために指導員は最低2人必要。また、設置場所も危険な場所ではなく、しかも学校の近くで遊び場がある。そういったさまざまな条件がそろわないと設置することが難しい現状です。ですから、豊和小、吉田小についても具体的に設置するのが難しい現状です。ただ、いかにしたら設置が出来るかという研究は絶えずしています。

#### ④ 匝瑳小学校統合関係（２）

匝瑳小の複式学級が２学級ということで、統合の話が出ているわけだが、その後、地区ごとにいろいろ打ち合わせをしたと聞いているが現状はどうなっているのか。教育長のこの前の話では、目標としては来年４月という話と聞いていたので気になっている。現状を教えてください。

##### （教育長回答）

匝瑳市の小学校は、昔の村に１校ずつ存在しています。したがって学校は地域と非常に密接な関わりの中で大事に育てられてきています。現在もまだ地域と学校は非常に密接な関係の中にあります。したがって、できれば匝瑳市の学校については存続していきたいというのが基本姿勢。できれば続けていきたい。

ただ、複式学級が二つ以上になると、マイナス面が多くなり、小規模校のメリットがほとんどなくなってしまい、教育環境が極めて悪化すると考えられます。したがって、子どもの望ましい教育を確保し提供するために、やむを得ず地区民の理解を得られたら、統合をしていきたいと考えています。

匝瑳小については基本的には来年の４月、地区民の理解を得られれば統合を進めたいと考えています。匝瑳地区では各地区で話し合いが進められており、それがまとまった時点で「匝瑳地区民としてはこういうふうを考える」というものが教育委員会に上がってくることになっていますので、地区民の意向を尊重していくというのが基本姿勢です。

ただし、私たちの心配は教育環境が悪化すること。匝瑳小を例にとると、来年は２年生と３年生で１クラス。５年生と６年生で１クラス。そうすると１年から６年までで４学級しかなくなってしまう。先生が学級の数だけ配置されるのは法律で決まっているので、６学年に対して４人の先生が配置されます。それにプラス１人、先生方が病気や出張のときに補充できるように配置されるので、匝瑳小の先生は１年から６年まであって５人しか来ないことになります。

複式学級になると、１つの学級に２学年の子どもがいて先生が１人でそれを指導することになります。そうすると１時限の中で、例えば２年生を２２分くらいみて、自習にさせて次に３年生を２２分みる。毎時間そういう形で授業を進めなければならない。１年間分の各教科の授業の内容が全部終わるかどうかという心配があります。子どもにとってはかなり教育環境が悪化することが懸念されます。したがって、できれば地域の皆さんの理解をいただいて統合するのが子どもの教育にとって最もいいというのが教育委員会の基本的な考え方。

ただし、地区民の方がそれを十分ご理解の上で「やはり学校は大事だから残したい」ということであればその意向は尊重したい。

⑤ 匝瑳小学校複式学級関係（１）

財政の問題もあるだろうけど、１人講師を入れることで対応できないのか。

（教育長回答）

正規の先生以外は独立して授業することは法律でできないが、市で教員免許を持っている方を補助員としては派遣できる。でも補助員が１人で授業をすることは法律違反で認められていない。資格があって正しく国や県から認められた人以外を自由にそういう形にやると、日本全国の一定の教育水準、レベルが確保できないということになることからそう定められている。

したがって、学習補助員として派遣した講師は、助手はできるが１人で授業をやることは法規上できません。

⑥ 匝瑳小学校統廃合関係（３）

地域住民の意向によって学校を残してもらえということですが、学校の統合は重大なことなんです。どうするかっていうのは。地域住民にとっても今までの歴史がある。運動会にしても、学校を中心に地域活動がされている。２０くらいある団体長会も学校を中心にまとまっている。その触れ合いがなくなっちゃうんですよね、学校がなくなると。一番大事なのが子どものためにどうかというのを考えなければならないと思うんですけど。本当に困った問題だと思っています。

（教育長回答）

子どものことを考えれば統合していただいたほうが良いというのが教育委員会の基本的な考え方。地域の意識が「複式学級で先生がこなくても残したほうが良い」ということであれば、私たちがそれを無視して統合するわけにはいかない。地域の意見は尊重します。

現況、県にお願いして、この３年間は匝瑳小には特別に先生をつけていただいている。複式学級になるのをこの３年間は何とか避けられた。けれども、法規上の配置ではないため、いつ切られるかわからない。来年の３月末にいきなり「やらないよ」と言われたら、１人で２学年を見なくてはならない状況が生まれる危険性、可能性があります。

現在は努力して何とか１人余分にもらってきているので、現在複式が２つあるが非常にいい形で運営が出来ている。ただこれが続くかどうかはまったくわからない話。法規上の配置でやれば、どうしても先生が足らなくなってしまうということです。

## ⑦ 匝瑳小学校統廃合関係（４）

私は統合に反対の立場である。なぜかという、昔は村役場があつてそれが中心だった。今はそういうものがなくなって、学校が地域の中心だと私は理解している。いろいろな面で学校というのは核だと思う。

児童数が少なくても30人であれ20人であれ、少なれば少ないほど先生方と一人ひとりの距離が縮まる。それが、「給料がどうの、何がどうの」というのがさっきあつたが、やはり学校というのは大切にしなければならない。学校を統合したほうがいいかもしれないが、地域全体の住民がどのような方向に行ってしまうのか。匝瑳小には伝統があるし、人数が少なくなろうとも学校としての存続をしてもらいたい。

### （市長回答）

地域と小学校との関わりなどを考えればまったくその通りだと思います。どうしてこういう議論、会合を続けていかなければいけないかということ、存続するためにはどうしたらいいかということで、今の状態では存続は難しくなってしまうということから、英知を結集して相談しているということです。

自分としても小学校の廃校は避けていきたいという思いを持っています。これは自分に限らず誰でもそうだと思います。ただ、取り巻く環境が厳しくなってきたということだけはご理解いただきたい。

## ⑧ 観光振興、環境美化関係

一番の問題は子どもが少ないということだと思う。子どもが少ないということは、市そのものの人口、または若い人たちが帰ってこない。帰ってこなければ人口も減るし、子どもも少なくなる。今の匝瑳もそのような状況だと思う。

市長に提案だが、このパンフレットに「海・みどり・…」と書いてある。

九十九里浜によく行くが、あの浜辺がすごく汚い。昔、小さいころ野手浜に両親に連れられて行った。今はそういう面での面影は全然無くて、砂浜も無くて緑も少なくなっている。

今はすごくサーファーが多い。九十九里浜は湘南に負けず劣らずサーファーが押しかけてきている。好きな人は来ているが、施設の充実などを検討していただくようお願いしたい。また、環境美化も含めて考えを聞きたい。

### (市長回答)

人口増加のためには、産業振興を図る必要があるという認識を持っています。

市の政策としては、いろいろ条件はあるが、若い人に永住してもらいたいということで、新しく家を建てることに対し、期限付きで固定資産税を免除しています。また、工場の進出、誘致については、今まで大きな工場でなければ税制の優遇措置が受けられなかったが、その条件をずっと下げて小さな企業でも税制の優遇を受けられるような制度をとっています。まだまだ力不足で目に見えるような形での働く場所の確保が難しいのだが、一生懸命やりたいと思っています。

また、子どもが少ないというのは結婚の問題もある。まだ独身の方が多くあるというふうに私も受け止めているわけだが、行政サイドとしても出会いの機会の創出、婚活計画を考えているところです。

九十九里浜が汚れているということだが、残念な状況です。市としては、簡単に汚されていかれるような環境を排除していきたいと考えています。

環境を良くするためには、目に付いたところはどンドンきれいにしていかなければならないと考えている。意識した取り組みを行ってまいりたい。

また、海岸の侵食問題については、市議会でも国、県へ「九十九里をもとの白砂青松にもどしてもらいたい。侵食を止めてもらいたい」と運動しています。

私としても、国と県への働きかけを精一杯やっと思っています。

### (副市長回答)

参考までに補足して申し上げますと、観光振興対策という質問があった中で、匝瑳市の海岸線に吉崎浜野外活動施設という公共施設があります。テニスコート、ローラースケート場、湿地園、レストラン、休憩施設がある施設ですが、現状では有効活用されていない状態にあります。

せっかくの土地、施設なので有効に活用したいということで、2年続けて民間あるいは地元のNPOと土地利用、振興方策について研究してきた経緯があります。道の駅に対して浜の駅みたいな形で、サーファーとか海岸に遊びにいらっしゃる観光客を対象とした施設に整備ができないものかということで研究してきております。市としては、できるだけ早期に施設の整備に向けて検討していきたいと考えています。

## ⑨ 少子化問題関係

少子化問題についてお伺いしたい。今年の計画の中にも子育て支援の充実というのがある。たしかに生まれた子どもたちについては充実した支援がされてきていると思うが、少子化ということ考えた場合、子どもをつくる状態にまだ至っ

ていないという問題があると思う。

私の集落を見ると78件の住まいがある。その中で高校生までの子どもがいる家庭は9軒。今年小学校に入学した児童はゼロ。現在小学校にご厄介になっているのは4人という状況。実際子どもを産める若い人たちがいる家庭は何件あるかというところ20件近くある。

ある地区で婚活を始めたという話を聞いた。若い人たちが結婚できる対策を作ってほしい。また、グローバルな時代なので日本人だけでなく東洋にまで目を向けて広い目で考えていただきたい。

#### (市長回答)

本当に取り組んでいかなければならない問題だと肝に銘じています。婚活も推進していきたいし、若い人たちが働く場所を確保できるように頑張っていきたい。

#### ⑩ 市の実施計画関係

平成20年から12年間、匝瑳市の総合計画ということで計画を立てられているということであるが、この前の平成19年までの総合計画あるいは実施計画の目標達成状況はどのようになっているか？この辺の計画について、私たち市民はわからないことが多い。

また、これからの計画についても、先ほど学童保育を研究されているとのことだが、例えば「4年後には作ります」とかいうようにわかるような形で計画を示していただきたい。過去に全ての事業が成功していればいいが、たまには目標値まで達成できなかったこともあると思うので、その辺の反省を踏まえて、どのようなことをやっているのか教えて欲しい。

#### (企画課長回答)

現在の総合計画は、匝瑳市が誕生して18年度と19年度の2ヵ年をかけて基本構想と前期基本計画を策定しました。基本構想というのは12年間の計画。それを4年ごとの3期（前期・中期・後期）に分けてある。現在は前期基本計画の3年目です。今後、中期基本計画の策定を、今年度から来年度にかけて実施する予定です。

ご指摘のとおり、前期計画について中期計画にどのように反映させるかということで、一番大切なのは前期計画の達成状況ということです。まず、この検証を重点的に行いたいと考えています。

基本計画は、市のホームページにも掲載していて、そこには各分野の目標値を掲載しています。例えば児童クラブの目標設置数は8箇所ということで、現在こ

れについては達成しています。ただし、まだ達成していないものもいくつかあります。

今後市民の方々の意識調査などもさせていただき、また、タウンミーティングのような機会も設けさせていただく中で、効果が無いものや軌道修正が必要なものなど、十分お伺いしながら中期基本計画に反映させていきたいと考えております。

## ⑫ 市道整備関係

生活に直結する道路問題について。私どもは一般的には通学道路として宮和田から松山に通じる道路、市道4026号線です。この道路は通学路でもあり、松山庭園美術館のお客さんも利用する道路です。

道路改良工事事業として平成14年度から始まったものだが、当初は8年から10年で何とか松山庭園美術館まではいくかなという話だった。早い段階で完成するだろうというような期待もあった。すでに今年度で8年になる。新市長も前の市長から引き継ぎを受けていると思うが、なるべく早く完成させる方向で努力していただきたい。

### (市長回答)

この事業は、平成14年から10年計画というような形で県道の佐倉線と佐原線を結ぶ生活道路として位置づけています。小学校あるいは保育園の通学通園同路でもあるし、個人的な施設であろうかと思うが松山庭園美術館、これはもう全国的に有名な美術館にもなっており、週末などはたくさんの車が往来している。何とかこの道路を1日も早く完成させたいと考えています。

松山庭園美術館までで800mくらいと聞いており、すでに500mくらいが完成しているということで、本年度は昨年度終わった所から80mくらい進んだ山裾のT字路までは、何とかやりたいと考えています。

そこまで行き着けば、美術館方向の道路は今まで工事をやっていた場所に比べると、費用や工期も比較的少なくて済むだろうと担当課から聞いています。

地域の文化高揚のためにも鋭意取り掛かっていきたいと考えていますので御理解をお願いします。

## ⑬ 市民病院のフロア案内関係

市役所窓口にフロアマネージャーおられるということで確かに便利なんです。

市民病院が近くにあるんですが、もしできたらベテランの看護師でもいいのだが置いていただけると助かる。年寄りの方、1日中振り回されて違うところで待

っていたりして、けっこう苦しんでいる人がいる。できればフロアマネージャーとは言わないが、そういう案内があったらいい。成田の赤十字病院にはいてすごく便利。市民病院でもできればお願いしたい。

**(市長回答)**

病院を利用する方に迷惑がかからないよう、受付体制をしっかりさせていきたいと思います。

**(総務課長回答)**

市民病院にはソーシャルワーカーという職の者がいます。その者にご相談をいただくと、ただ今のようなご案内をします。それから医療費の相談の関係などについてもソーシャルワーカーが担当することになっています。ただ、皆さんが行かれたときに、目立たないため気軽に相談できなかったかもしれません。対応について病院に徹底させていきます。

**⑭ 匝瑳小学校統廃合関係 (5)**

今まで皆さんの中からもいろいろあったが、匝瑳地区は、先生はもちろんのこと、地区民全体で子どもを育てていこうという昔から伝統のある地区。今回、児童数が少ないからといって廃校という問題が浮かび上がってきたが、ただ児童が少なくなるから廃校するというのであれば、大きな禍根を残すことに必ずなると私は思う。

また、複式学級のことでも先ほど出てきたが、私も教師の免許を持っている。これは絶対に無理だし、そういうことはやるべきことではない。教育長からご提示があったが、1年で半分、先生は神様ではないから絶対にできない。

匝瑳には、「匝瑳小学校が素晴らしい教育をしているから全国から来いよ」というような意気に燃えている方がいっぱいいるんです。

**(市長回答)**

皆さんの考えというのは身にしみてわかっています。私としてもそういった気持ちを十分にしん酌しながら検討していきたいのでよろしくお願いします。